

# 市民公共交通アンケート調査結果【速報版】

## (1) 実施概要

- 岸和田市民を対象に公共交通に関するアンケートを実施した。
- アンケート調査票の回答状況は、合計 1,668 票、回答率 37.1%である。

### ○ 調査概要

#### 【調査方法】

- ・ 住民基本台帳から無作為抽出による郵送配布・郵送回収 (※6ヶ月以上在住者対象、地区別・年代別・性別に岸和田市の人口構成に応じて均等抽出)

#### 【調査対象者・調査規模】

- ・ 岸和田市在住の 15 歳以上の市民
- ・ 合計 4,500 部配布

#### 【調査時期】

- ・ 平成 28 年 10 月 31 日 (金) ~ 11 月 14 日 (金)

#### 【回答状況】

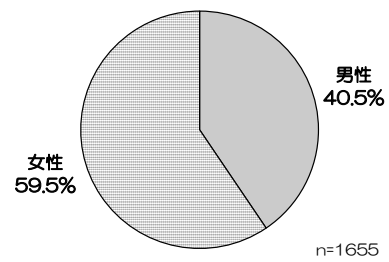
- ・ 1,668 票 (回答率 37.1%) (※平成 28 年 12 月 26 日時点)

## (2) アンケート回答者の属性

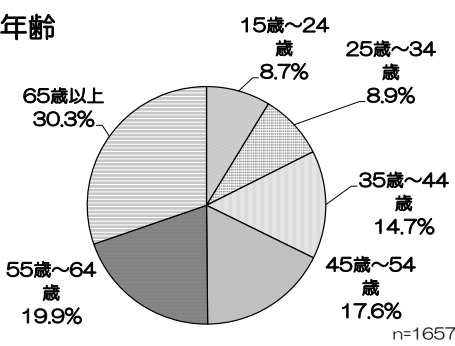
### ■ 性別・年齢・職業

- 性別は、「女性」が約 60%、「男性」が約 41%である。
- 年齢は、「65 歳以上」が約 30%で最も多く、次いで「55~64 歳」が約 20%、「45~54 歳」が約 18%である。
- 職業は、「会社員・公務員」が約 30%で最も多く、次いで「無職」が約 19%、「家事専業」が約 17%である。

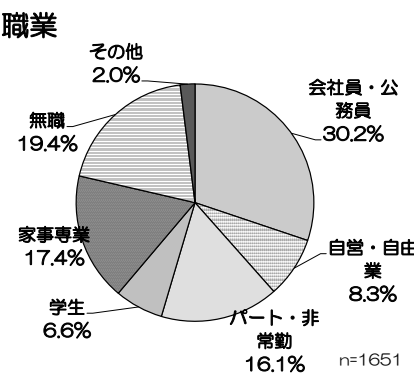
#### □ 性別



#### □ 年齢



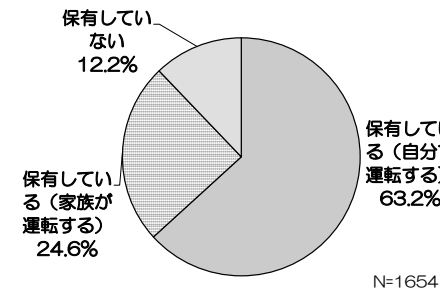
#### □ 職業



### ■ 自動車の保有状況

- 自動車の保有状況は、「保有している (自分で運転する)」が約 63%で最も多く、次いで「保有している (家族が運転する)」が約 25%、「保有していない」が約 12%である。

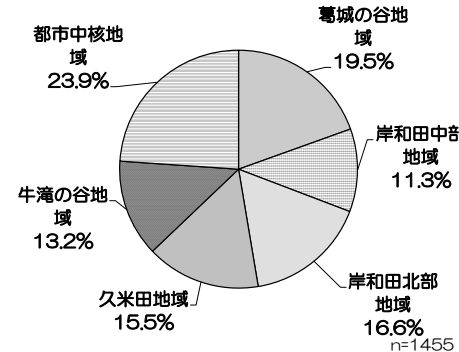
#### □ 自動車の保有状況



### ■ 住まいの地域

- 住まいの地域は、「都市中核地域」が約 24%で最も多く、次いで「葛城の谷地域」が約 20%、「岸和田市北部地域」が約 17%である。

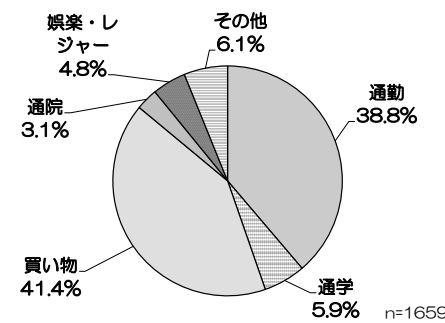
#### □ 住まいの地域



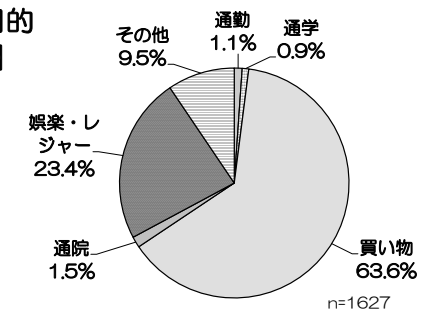
## (3) 普段の外出目的

- 普段の外出目的のうち平日は、「買い物」が約 41%と最も多く、次いで「通勤」が約 39%である。
- 休日は、「買い物」が約 64%と最も多く、次いで「娯楽・レジャー」が約 23%である。

#### □ 外出目的【平日】



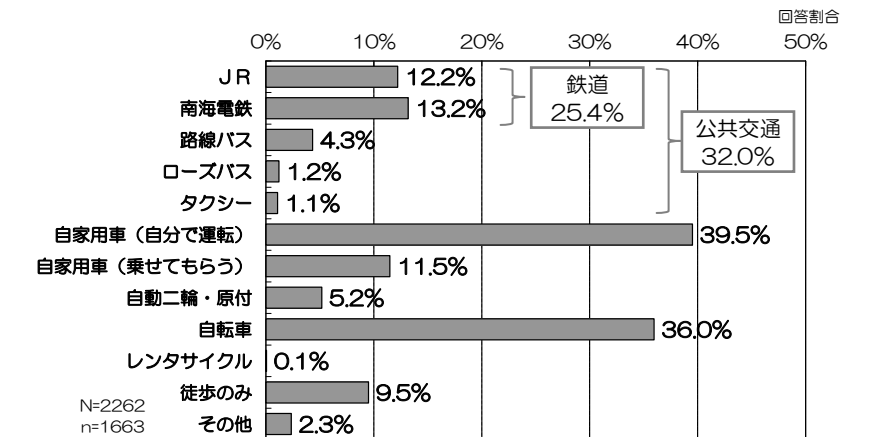
#### □ 外出目的【休日】



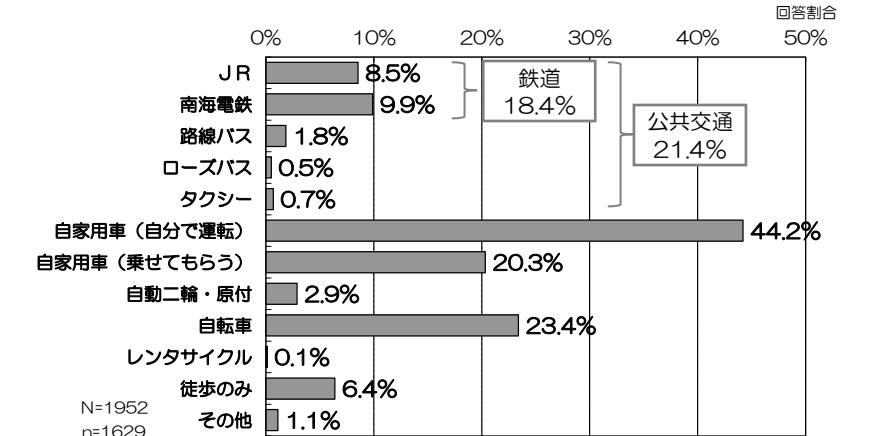
## (4) 普段の外出時に利用する交通手段

- 普段の外出時に利用する交通手段のうち平日は、「自家用車 (自分で運転)」が約 40%と最も多く、次いで「自転車」が約 36%、「鉄道 (JR と南海電鉄の合計)」は約 25%である。
- 休日は、「自家用車 (自分で運転)」が約 44%と最も多く、次いで「自転車」が約 23%、「自家用車 (乗せてもらう)」が約 20%である。また、「鉄道 (JR と南海電鉄の合計)」は約 18%である。
- 公共交通 (JR、南海電鉄、路線バス、ローズバス、タクシーの合計) を見ると、休日は約 21%と平日の約 32%に比べて低い。

#### □ 外出時の交通手段【平日】〔複数回答〕



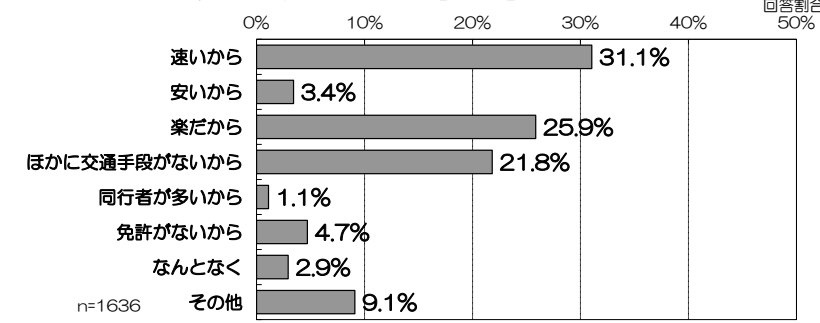
#### □ 外出時の交通手段【休日】〔複数回答〕



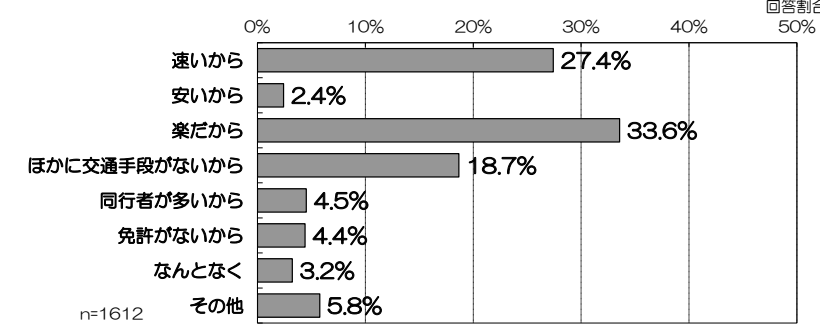
(5) その交通手段を選択した理由

- その交通手段を選択した理由のうち平日は、「速いから」が約31%と最も多く、次いで「楽だから」が約26%、「ほかに交通手段がないから」が約22%である。
- 休日は、「楽だから」が約34%と最も多く、次いで「速いから」が約27%、「ほかに交通手段がないから」が約19%である。

□ その交通手段を選択した理由【平日】



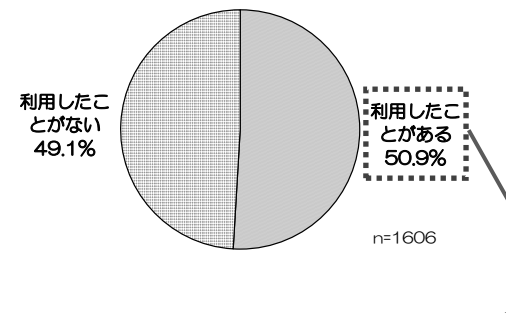
□ その交通手段を選択した理由【休日】



(6) 路線バスの利用状況

- 路線バスの利用状況は、「利用したことがある」が約51%、「利用したことがない」が約49%である。
- アンケート回答者のうち、約半数は路線バスを「利用したことがない」と回答している。

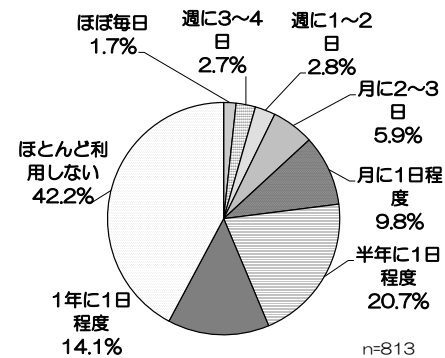
□ 路線バスの利用状況



(7) 路線バスの利用頻度（路線バスを利用したことがある方のみ回答）

- 路線バスの利用頻度は、「ほとんど利用しない」が約42%と最も多く、次いで「半年に1回程度」が約21%、「1年に1回程度」が約14%である。
- 路線バスを利用したことがある方のうち、月に1回以上利用する方（ほぼ毎日、週に3~4日、週に1~2日、月に2~3日、月に1日程度、半年に1回程度、月に1日程度の合計）は、約23%である。

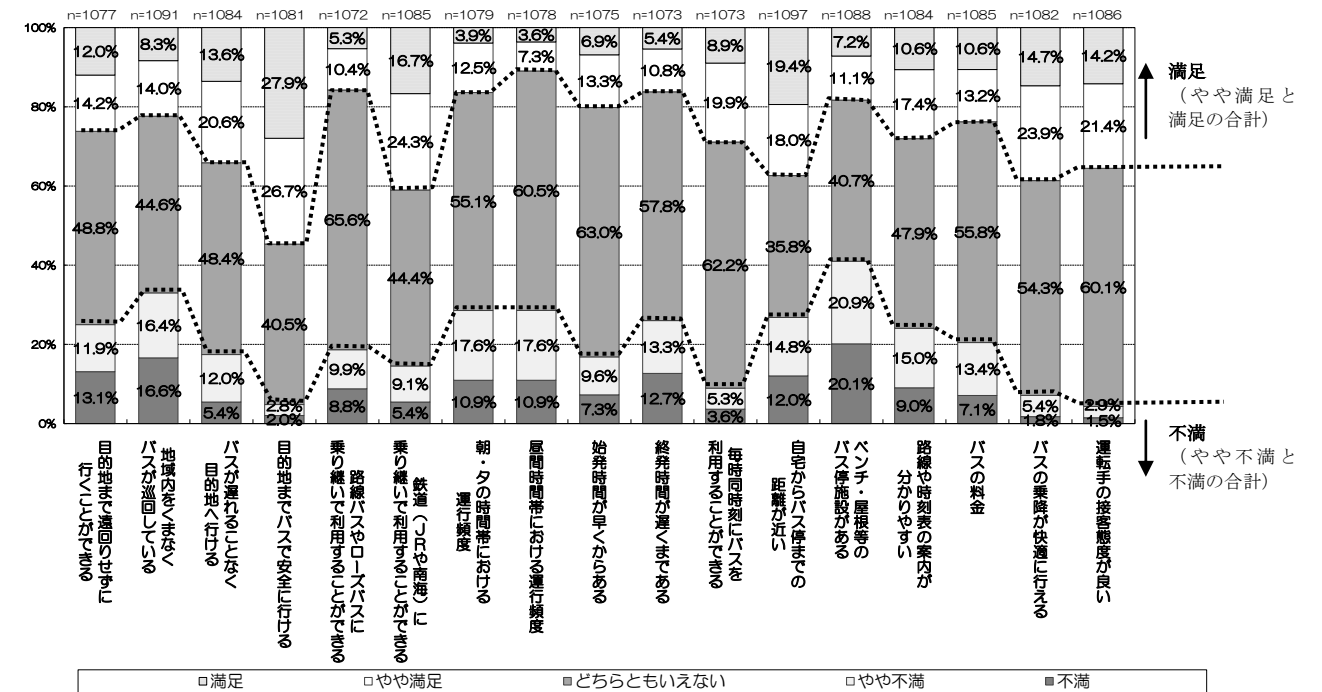
□ 路線バスの利用頻度（路線バスを利用したことがある方のみ回答）



(8) 市内のバス交通（路線バス・ローズバス）を利用する際の満足度

- 市内のバス交通（路線バス・ローズバス）を利用する際の満足度のうち、不満（やや不満と不満の合計）を見ると、「ベンチ・屋根等のバス停施設がある」が約41%と最も多く、次いで「地域内をくまなくバスが運行している」が約33%、「昼間時間帯における運行頻度」が約29%の順である。

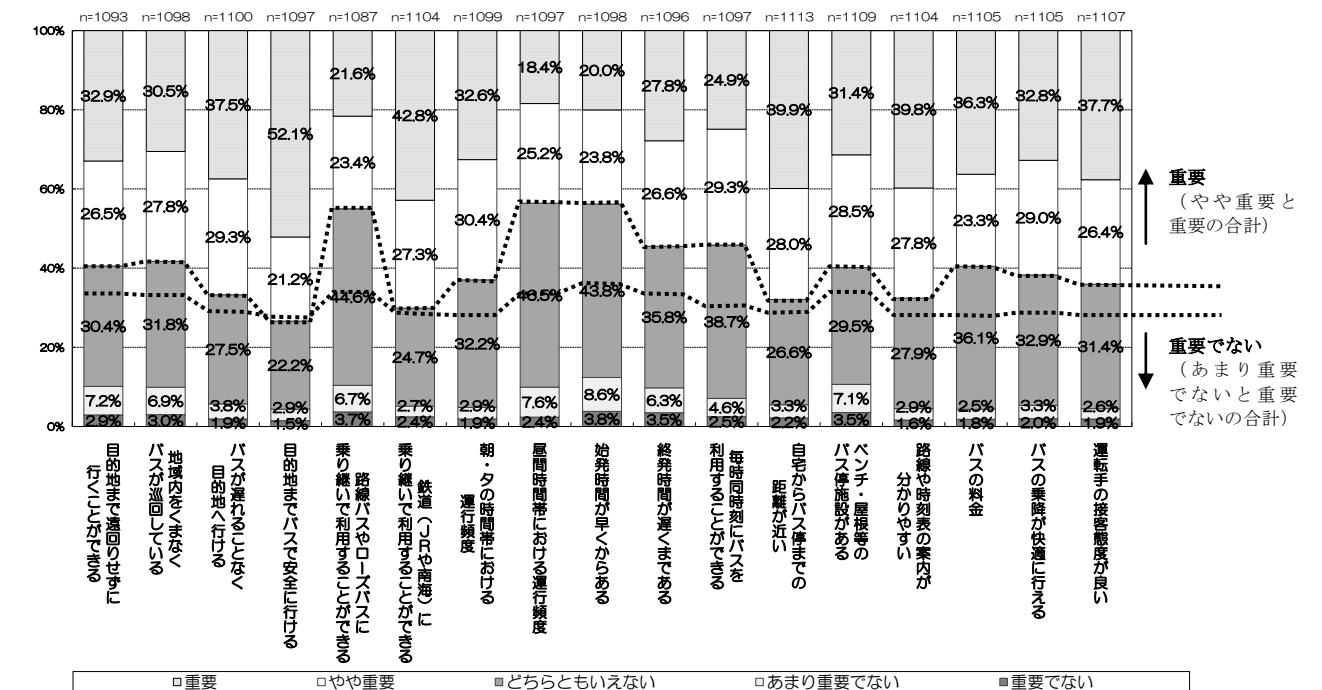
□ 市内のバス交通（路線バス・ローズバス）を利用する際の満足度



(9) 市内のバス交通（路線バス・ローズバス）を利用する際の重要度

- 市内のバス交通（路線バス・ローズバス）を利用する際の重要度のうち、重要（重要とやや重要な合計）を見ると、「目的地までバスで安全に行ける」が約73%と最も多く、次いで「鉄道（JRや南海）に乗り継いで利用することができる」が約70%、「自宅からバス停までの距離が近い」及び「路線や時刻表の案内が分かりやすい」が約68%の順である。

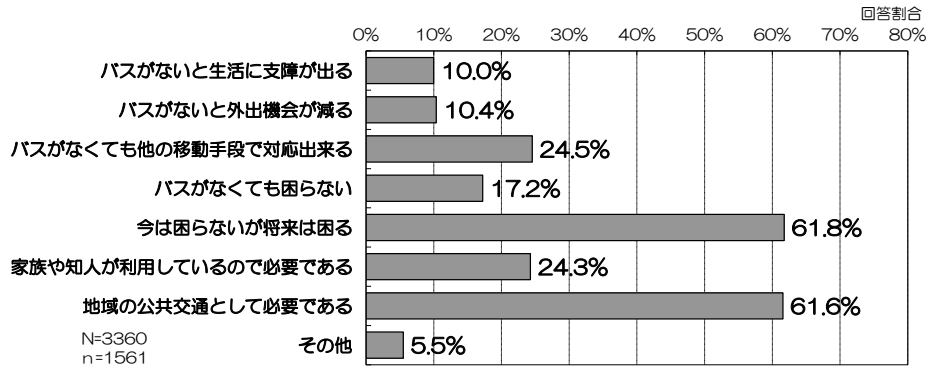
□ 市内のバス交通（路線バス・ローズバス）を利用する際の重要度



(10) 路線バスが必要だと思う理由

○ 路線バスが必要だと思う理由は、「今は困らないが将来が困る」と「地域の公共交通として必要である」がともに約 62%で最も多く、次いで「バスがなくても他の移動手段で対応できる」が約 25%、「家族や友人が利用しているので必要」が約 24%である。

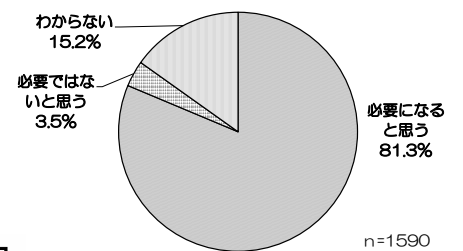
□ 路線バスが必要だと思う理由



(11) 将来、自動車を運転出来なくなった時のバス交通の必要性

○ 将来、自動車を運転出来なくなった時のバス交通の必要性は、「必要になると思う」が約 81%で最も多く、次いで「わからない」が約 15%、「必要でないと思う」が約 4%である。

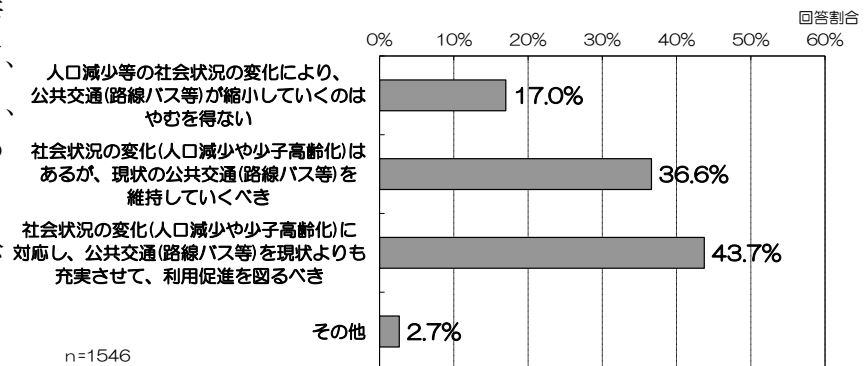
□ 将来、自動車を運転出来なくなった時のバス交通の必要性



(12) 公共交通(路線バス等)を維持・確保することは必要だと思う理由

○ 公共交通(路線バス等)を維持・確保することは必要だと思う理由は、「社会状況の変化(人口減少や少子高齢化)に対応し、公共交通(路線バス等)を現状よりも充実させて、利用促進を図るべき」が約 44%で最も多く、次いで「社会状況の変化はあるが、現状の公共交通を維持していくべき」が約 37%、「人口減少等の社会状況の変化により、公共交通が縮小していくのはやむを得ない」が約 17%である。

□ 公共交通(路線バス等)を維持・確保することは必要だと思う理由



(13) 岸和田市内の公共交通(路線バス等)を維持・充実させていくための方法

○ 岸和田市内の公共交通(路線バス等)を維持・充実させていくための方法は、「現状のサービスを維持するために、可能な限り市が負担すべき」が約 35%で最も多く、次いで「便数増や路線の拡大のために、可能な限り市が負担すべき」が約 26%、「現状のサービスを維持できなくても仕方がない(減便もやむを得ない)」が約 21%である。

□ 岸和田市内の公共交通(路線バス等)を維持・充実させていくための方法

